

○議長（吉田敏郎）

日程第3 認定第4号 決算認定について（給食事業特別会計）の質疑を行います。質疑は歳入歳出全般にわたり行います。質疑をされる際は、ページを明示してください。

それでは、質疑をどうぞ。

10番、井上慎司議員。

○10番（井上慎司）

10番、井上慎司です。説明資料74・75ページ、決算書220・221ページになります。昨年度末、3月2日、午後から新型コロナウイルス感染症の対策ということで、町内の園、学校が一斉休業となりました。この日から給食が突然止まったのですが、実際、給食をストップして、食材を止められなかった日数というのはどれぐらいあったのでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

学校教育課長。

○学校教育課長（岩本浩二）

すみません。今、手元に数字がございません。後ほどお答えをさせていただきます。

○議長（吉田敏郎）

よろしいですか。

10番、井上慎司議員

○10番（井上慎司）

10番、井上慎司です。では、後ほど、日数のほう、よろしく申し上げます。これは新型コロナウイルスとか関係なく、インフルエンザでの突然の学級閉鎖、あるいは学年閉鎖でも同じような状況になると思うのですが、こういった場合に、食材の大量廃棄というものに、当然つながってくるかと思えます。ですので、学校で教育現場ですので、食品という観点からも、食材の大量廃棄というものは当然あってはならないことだと思っております。どうしても止められない状況というものも分かるのですが、できるだけ、この食材の廃棄につながらないような仕組みというものを、今後考えていっていただきたいと思えます。

また、昼食の食材費の購入ということで、保護者の方から集金しているかと思うのですが、こういう決算が出た後に、保護者に宛てた給食費、このような年間使われました。学年閉鎖、学級閉鎖とかの詳細なデータをもとにしたものを、保護者の方に決算としてお渡しはしているのでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

教育長。

○教育長（井上義文）

ただいまの御質問、会計の報告という解釈でお話をさせていただきます。

毎年、PTA総会等、あるいは何らかの便りで、給食費と会計報告はしていると

いうふうに認識をしてございます。

○議長（吉田敏郎）

10番、井上慎司議員。

○10番（井上慎司）

10番、井上慎司です。会計のほうの報告はされているということなのですが、単に数字の報告だけではなく、先ほども申し上げたとおり、フードロスという観点からも、これぐらいの廃棄が出ていますというようなデータも添付されていたかと思うのですが、今後、そういったことも参考にさせていただきたいと思います。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

ほかに質疑。

7番、井上三史議員、どうぞ。

○7番（井上三史）

7番、井上三史です。決算書の218ページ、219ページの一番下でございませう。収入未済額22万5,100円について、お伺いいたします。11名の異動があったようなのですけれども、これが臨時休校の際の時期で、ある程度、事情があったというふうに察することができるわけでございますけれども、この未収額となった、22万5,100円は、このまま催促をせず、不納欠損額として回す猶予を考えていらっしゃるのか。やはりあくまでも未納は未納で、きちんと徴収しましょうよというふうに考えていらっしゃるのか、その辺、どのようにされるのでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

学校教育課長。

○学校教育課長（岩本浩二）

未納額につきましては、先日も御説明を差し上げたとおり、コロナの影響があつて、引き落としができなかったものが、対面等で滞納整理等ができなかったというふうなことで、未納額が生じているというのが、主な原因というようなことですが、こちらにつきましては、滞納整理という形で、徴収をしていく。お願いをしていくというようなことは取り組んでいきたいと考えています。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

よろしいですか。ほかに質疑はございますか。ございませんか。

（「なし」という者多数）

○議長（吉田敏郎）

ないようですので、認定第4号 決算認定について（給食事業特別会計）の質疑を終了します。